

漁業経済 学会短信

No. 26
77. 11

第25回大会シンポジウムのテーマおよび 学会運営の近況について

学会常任理事会では、本年度の新機軸として企画委員会を内部的に設けました。高山、中井、秋谷、長谷川、広吉、それに総務担当の平沢、大海原の各氏が加わった構成で、大会の進め方や学会誌の編集方針を集团的に検討して行こうというものです。これまでは、最初に業務分担が決まると、それぞれの分野を一人ないし二人の担当者が事実上専決・処理し、理事会で追認してもらうというかたちにとられて来ました。各理事の職場が分散しており、漁業経済研究を本務としていない人も多いという状態では、そういう対応でもしない限り、仕事が進まないという事情があったと思います。しかし本年度からは、中井、長谷川の両名が東水大に移って学会運営の戦力が大いに高まると予想され、したがって企

画委員会を軸に、「英知」を集めた活動が活発に進められるものと期待されたわけですが。

しかし、それは結局、単なる「期待」に終りました。長谷川の転任が10月になり、中井氏も含めて新しい職場への対応に追われて学会にまで手が及ばないというのが現実であり、そうなるしてみると、今までのように各人の業務分担が決まっていなかったに、すべてが凍結状態を続けることになってしまいました。

以上は、学会運営の近況報告であり、活動遅滞の言い訳です。

さて、去る十一月七日、ようやく企画委員会がもたれ、別記のような学会誌編集方針と大会シンポジウムのテーマが議論されました。シンポジウム・テーマについては、本年度全国理事会の際にも話題になった「漁業制度

の問題」が、現在、学会としてとりあげなければならぬ最も重要なテーマであろうという点で意見の一致をみました。しかし、来春にシンポジウムを行うには、余りにも準備期間が短かく、不十分なものになることが予想され、結局、25回大会では、これまでの研究蓄積が比較的厚く、また、二百カイリ時代への対応に関して意見の分化ないし対立さえ起こしているかに見える「水産物流通の問題」をとりあげることに決まりました。

ただし、一般に「流通問題」といっても、その範囲には、消費論、市場論、流通機構論あるいは需給論と、非常に広い問題領域が含まれていますから、シンポジウムを効果的に行うためには、論点を整理・限定して、かみ合った論議ができるようにする必要があります。この作業には、委員の中から中井、秋谷、長谷川の三人が当ることになり、海外出張中の秋谷氏の帰国をまって、至急（遅くも年内に）、最終的なテーマの決定と報告者、コメントーター等の人選と依頼を行うことになりました。これからが大変というところです。

十一月もすでに半ばを過ぎ、気はあせれども、思いどおりに事は運んでくれない毎日です。

（長谷川）

第二四回漁業經濟学会大会開催される

六月三日・五日、大阪府立教育会館及び近畿大学にて第二四回漁業經濟学会大会が開催されました。今回は三日を公開特別シンポジウム「二〇〇カイリ漁業専管水域設定への対処」に当て、四日、一般報告、五日シンポジウム「漁業労働力構造」という日程で行なわれました。

大会プログラムは次のとおりです。

公開特別シンポジウム

二〇〇カイリ漁業専管水域設定への対処

・司会 平沢 豊 中井 昭 倉田 亨

コメンター 高林秀雄 米田一二三

池田 均 柴山義一

吉木武一 酒井亮介

一般報告

一、三地方都市における中央卸売市場開設について

―姫路・金沢・和歌山の比較―

相沢 昂

二、中央卸売市場における水産物の競合

―大阪中央卸売市場の価格を中心として―

多屋 勝雄

和田 勉

三、伊勢湾におけるノリ養殖の発展

四、ホタテガイ増養殖の現状と将来

―外海増養殖で五〇万トン生産可能―

境 一郎

五、地域漁業の変貌と市場流通問題

長谷川健二

六、韓国における水産経済・経営学の研究動向

張 謨 鎬

七、二〇〇カイリ問題と山陰の漁業

―竹島問題に関連して―

田中 豊治

八、漁業技術構造と労働力編成

大海原 宏

九、気仙沼における遠洋マグロ漁業の展開と労働力需給および労資関係

中居 裕

十、最近のマグロ延縄漁業労働力の動向について

三輪 千年

シンポジウム

服部 昭

林 義和

チーム 漁業労働力構造

一、漁業労働力の需給構造

中込 暢彦

二、東北漁業労働力構造の現段階的性格

広吉 勝治

三、室戸地域マグロ延縄漁業労働力構造の実態と変貌

八木 庸夫

総会報告

一、昭和五十一年度決算報告および五十二年度予算案の承認

二、役員改選

理事の任期満了にともない新役員の選出が行なわれました。新役員は次のとおりです。（順不同）

会長 岡本清造 日本大学

理事 秋山博一 全漁連

秋谷重男 埼玉大学

浅田陽一 水産庁

鎌倉靖夫 農林省水産統計課

中井 昭 東京水産大学

長谷川彰

平沢 豊

高山隆三 慶応大学

堀口健治 東京農業大学

大津昭一郎 高崎経済大学

西村章作 淡水研

大海原宏 東京水産大学

広吉勝治 東京大学

鈴木 旭 北海道大学

昭和 51 年度決算報告 (52, 3, 31, 現在)

☆ 収入の部			☆ 支出の部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
会 費	888,000	950,500	会 誌 印 刷 費	1,200,000	755,550
ボーナス・カンパ	100,000	158,500	通 信 発 送 費	150,000	113,150
会 誌 売 上	50,000	127,256	事 務 局 費	150,000	129,735
寄 付 金	300,000	300,000	会 議 費	10,000	—
広 告 料	20,000	5,000	大 会 経 費	80,000	24,155
雑 収 入	5,000	1,213	負 担 金	40,000	33,880
前期繰越金	278,237	278,237	雑 費	10,000	—
			繰 越 金	1,237	764,236
計	1,641,237	1,820,706	計	1,641,237	1,820,706

財 産 目 録 52, 3, 31, 現在

預 金 { 銀 行	31,960
{ 郵 便 局	636,900
現 金	72,084
振 替 貯 金	23,292
合 計	764,236
特別会計 (定額貯金)	200,000

昭和 52 年度予算

☆ 収入の部			☆ 支出の部		
科 目	51 年度	52 年度	科 目	51 年度	52 年度
会 費	888,000	830,000	会 誌 印 刷 費	1,200,000	1,600,000
ボーナス・カンパ	100,000	100,000	通 信 発 送 費	150,000	150,000
会 誌 売 上	50,000	50,000	事 務 局 費	150,000	150,000
寄 付 金	300,000	300,000	会 議 費	10,000	10,000
広 告 料	20,000	20,000	大 会 経 費	80,000	100,000
雑 収 入	5,000	5,000	負 担 金	40,000	40,000
前期繰越金	278,237	764,236	雑 費	10,000	5,000
			予 備 費	1,000	14,236
計	1,641,237	2,069,236	計	1,641,237	2,069,236

池田 均 北海道総研
 庄司東助 東北水研
 柿本典昭 金沢大学
 浦城晋一 三重大学
 中込暢彦 水産大学校
 河野通博 岡山大学
 吉木武一 長崎大学
 岩切成郎 鹿児島大学
 志村賢男 広島大学
 大島褒二 関西学院大学
 倉田 亨 近畿大学
 監事 浅野長光 日本トロール捕鯨漁船
 岡 伯明 水産経営技術研
 なお、六月二九日の在京理事会で常任理事の選出と役割分担を決めました。
 常任理事
 総務 平沢 豊
 会計 大海原宏
 企画・編集 長谷川彰
 中井 昭
 高山隆三
 秋谷重男
 広吉勝治

●学会賞選考委員の改選
 全国理事会で当委員の改選が行なわれました。選考委員は次のとおりです。

敷内 芳彦
 二野瓶徳夫
 岡 伯明
 平沢 豊
 中井 明
 長谷川 彰

●会誌編集方針
 一月七日企画・編集担当理事会で会誌編集方針と各号ごとの編集担当理事が次のように決まりました。
 二四巻一号 大会シンポジウム特集（長谷川彰）原稿〆切、一二月末日
 二号 自由投稿（高山隆三）原稿〆切、五三年二月末日
 三・四号 岡本清造先生退官記念号（中井昭）原稿〆切、五三年五
 末日

●第二五回大会開催予定
 開催地、東京（東京水産大学）
 日程、六月三日（土）四日（日）
 シンポジウム・テーマ
 「水産物の需給構造」（仮題）

●企画・編集担当理事会より
 会誌編集・大会準備を担当する理事五名によって構成されています。一月七日に前記のとおり方針が決められました。その折、第二六回大会（昭和五四年）のシンポジウム・

テーマをも今年中に決め十分時間をとって準備していくことが確認されました。そして、第二六回大会シンポジウムのテーマとして、「漁業制度論」が提案され、了承されました。この点について御意見がありましたら事務局までお寄せ下さい。

なお、このように二年後のシンポジウム・テーマを決めて準備していくことを今後の慣例としたいとのことですので、お知らせします。

●事務局より
 一、「学会誌」展示会への協力
 日本学会事務センター・事業部主催の「学会誌」展示会に「漁業経済研究」の展示の協力依頼がありまして、これに協力致しました。主要都市の有力書店で展示、販売されましたが、一部で品切れが生じ追加発送しました。

二、会費前納制に協力を
 会費前納制にたいする会員各位の御協力により会費納入状況は好転しておりますが、なお一層努力し、各年度の大会までの会費前納の完了へむけて各位の御協力をお願い致します。

本年度会費未納の方は至急納入して下さい。ようお願い致します。

● 原稿募集

二四巻二号は会員の論文の自由投稿をもって編集することになりましたので、ふるって投稿して下さい。切期日は五三年二月末日ですので、これを守って下さい。

● 学会誌への投稿にあたっての注意

本会誌へ投稿の際は今後つぎの諸点をぜひ守って下さい。

1. ペンできれいに縦書すること。(新仮名遣、略字) 判読に苦しむようなきたない原稿や横書、鉛筆書はやめること。

2. 魚介藻類の名前は片仮名を用いること。平仮名、かん字はつかわないこと。ただし引用資料のなかにある魚介藻類の名前はこの限りでない。

3. 数字の入れ方

たとえば「昭和三三年、一三、四五六円」のように数字をならべ、その間に「十、百、千、万」などを入れない。ただし「一五万円」のようにそれで終る場合には「万」を用いてよい。また引用資料については勿論この限りでない。

4. 註の入れ方

本文の該当する箇所右横の行間に(1)
(2)のごとく挿入し各節のおわりに
註(1)……………

(2)……………

のように註をつけること。

5. 章節その他すべて見出しのつけ方はできるだけ簡略にし、あまり複雑にしないこと。

6. 一般に表や図が多いが、論文の体裁から、また印刷費の節減の上からできるだけ表と図は充分加工して論点を説明する必要最小限度に簡略化することが望ましい。

形式的な一例として表中の数字を記入する場合、当面の必要からいえば百万円の単位までで充分なのに千円の単位まで数字を

並べ、このため表を不必要に大きくするようないふように。

7. 図がどうしても必要なときは原図をできるだけ小さくすること。版下代節減のためである。

7. 投稿にあたっての注意を無視している論稿は編集担当理事が検討のうえ書き直していただくことがありますので御承知ください。

●「漁業経済研究」二三巻三・四号近日発行予定。

資料：大会シンポジウム・テーマ（第1回～第24回）

回数	西暦	昭和	シンポジウム（集中報告）課題
第1回	'54	29	漁協の当面する問題
2	'55	30	歩合制度と半封建制について
3	'56	31	中小漁業の資本の性格について
4	'57	32	漁業共同経営の性格
5	'58	33	水産物価格形成および価格変動の問題
6	'59	34	共同経営をめぐる問題
7	'60	35	漁業制度改革をめぐる諸問題
8	'61	36	漁家経営の現状と将来
9	'62	37	漁業政策の基本問題
10	'63	38	(なし)
11	'64	39	漁業における流通問題
12	'65	40	漁業労働の諸問題
13	'66	41	水産物の流通・価格・需要
14	'67	42	沿岸漁業構造変化の方向と問題点
15	'68	43	水産業における資本の性格と機能
16	'69	44	中小漁業の当面する問題点
17	'70	45	沿岸漁業の諸問題
18	'71	46	現段階における協同組合の性格
19	'72	47	日本漁業の経済構造 I
20	'73	48	日本漁業の経済構造 II
21	'74	49	——漁業制度をめぐる今日の諸問題——
22	'75	50	漁業公害と漁民運動・系統運動
23	'76	51	転換期における日本漁業
24	'77	52	——海洋法をめぐる——
			日本漁業の成長メカニズム I
			日本漁業の成長メカニズム II
			漁業労働力構造

「漁業経済研究」バックナンバー在庫案内

[illegible]

品 名	定 価	品 名	定 価
漁業経済研究 10巻 1号	160円	漁業経済研究 16巻 4号	400円
漁業経済研究 " 2号	160円	漁業経済研究 17巻 1号	400円
漁業経済研究 " 3号	200円	漁業経済研究 " 2号	400円
漁業経済研究 " 4号	300円	漁業経済研究 "	
漁業経済研究 11巻 1号	300円	3,4 合併号	400円
漁業経済研究 " 2号	200円	漁業経済研究 18巻	
漁業経済研究 " 3号	200円	1,2 合併号	1,000円
漁業経済研究 " 4号	200円	漁業経済研究 " 3号	500円
漁業経済研究 12巻 1号	200円	漁業経済研究 " 4号	500円
漁業経済研究 " 2号	200円	漁業経済研究 19巻	
漁業経済研究 " 3号	200円	1,2 合併号	800円
漁業経済研究 " 4号	200円	漁業経済研究 " 3号	600円
漁業経済研究 13巻 1号	300円	漁業経済研究 " 4号	600円
漁業経済研究 " 2号	500円	漁業経済研究 20巻 1号	600円
漁業経済研究 " 3号	300円	漁業経済研究 " 2号	600円
漁業経済研究 " 4号	300円	"	
漁業経済研究 14巻 1号	300円	漁業経済研究 3,4 合併	800円
漁業経済研究 " 2号	300円	漁業経済研究 21巻 1号	800円
漁業経済研究 " 3号	300円	漁業経済研究 " 2号	800円
漁業経済研究 " 4号	300円	漁業経済研究 "	
漁業経済研究 15巻 1号	400円	3,4 合併号	1,500円
漁業経済研究 " 2号	400円	漁業経済研究 22巻 1号	1,000円
漁業経済研究 "		漁業経済研究 " 2号	1,000円
3,4 合併号	800円	漁業経済研究 "	
漁業経済研究 16巻 1号	400円	3,4 合併	1,500円
漁業経済研究 " 2号	400円	漁業経済研究 23巻 1号	1,000円
漁業経済研究 " 3号	400円	漁業経済研究 " 2号	1,000円